

平和憲法・9条を守る 岩手の会 ニュース No.36

2008.8.6

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

後世への願い～

「平和憲法」を引っ提げて、世界に反戦・平和をうたえて欲しい
小学二年生の時爆心地から約2kmの地点で被爆して～

岩手県原爆被害者団体協議会事務局長 三田健二郎



毎年8月がめぐってくると、思い起こすのは6日早朝のあの恐ろしい瞬間だ。経験したことのない強烈な閃光に目がくらんでいると、猛烈な爆風で木の葉のように吹き飛ばされ、ふと気がつくの不気味な静寂、そして凄惨極まりないあたりの光景。

一発の原子爆弾が一瞬にして数万の人間の命を奪い、ひどい火傷や外傷を負わせ、放射能によって人々を心身共に永く苦しめ死に至らしめる。

当時、すでに日本に戦闘能力はなく、原爆の使用はまったく不要であったのだ。しかし、米国は力を誇示し、戦後処理の主導権を得るために敢えて実験のために原子爆弾を投下したという。

私はこのようなことがこの世で許されるはずはなく、少なくとも人類はこの経験に学んで、再び核兵器を使用することはないと考えていた。ところが愚かにも、いまだに核兵器の強力化と配備の拡大が続けられている。

核保有国は場合によっては先制攻撃も辞さないという。しかし、仮に当時の数十倍あるいはそれ以上といわれる原爆一発でもたらされる被害は計り知れない。もし核戦争が始まれば一発で終わるとも考えられず、地球全体が甚大な被害を受け、広域に永い期間にわたって影響を及ぼし、人類破滅という取り返しのつかない事態となることは必定だ。

今日、世界の環境問題が大きく取り上げられ、人類史上かつてない深刻な危機を迎えている。食料・水・空気・エネルギーと人間の生存自体が脅かされかねない状況となっている。こうしたことに直面している最中、核兵器を中心とする軍拡競争に狂奔している国々があることは、同じ人間としてとても正気の沙汰とは思えない。

世界で唯一の被爆国であるわが国は、今こそ人類の救世主として、世界に誇る「平和憲法」を引っ提げてその先頭にたって反戦・平和を強く訴えるべきだ。特に、次代を担う若い世代にこの役割を果たしてほしい。これが、今被爆者の後世への願いだ。

次回の署名行動



〃夕涼み〃

署名行動

8月9日(土) 17:00~18:00

大通り・野村證券向かい

今月は人通りが多い時間帯に行動します。是非、浴衣、甚平など夏らしい装いで参加しましょう！ 終了後は場所を変え「懇親会」もします。街宣後、平和への熱い(暑い?)思いなどを語り合いたい方、ぜひ参加を！(署名場所に集合です)



紫波二中学区で「九条の会」結成

紫波町内 全中学校区に会ができる

7月26日午後2時から紫波町彦部公民館で二中学区（長岡、星山、彦部、佐比内、赤沢）の「九条の会」結成集会が開かれ、55人が参加しました。内村正義さんが主催者を代表して「二中学区からも平和憲法九条を守る運動を起こしていきたい」とあいさつし、岩手の会の代表世話人加藤善正さんが「憲法を活かす運動と農業・食料問題」と題して記念講演を行いました。「紫波二中学区九条の会」では学習会や署名運動をにとりくむ活動方針と世話人を決めて、アピールを採択しました。

紫波町内には日詰・赤石地区を中心としながら町全体をまとめる町民の会と古館の会が紫波一中学区にあり、三中学区の会に続く4つ目の九条の会の結成です。

紫波町では、8月のはじめに世話人会を開いて、3周年記念行事の計画とともに、署名宣伝行動の定例化と町民過半数署名をめざす活動方針を話し合うことにしています。（町民の会事務局 菅野宗二さん）



映画「日本の青空」 釜石市、久慈市で上映

「難産だった日本国憲法を大事にしていきたい」

（題：釜石会場の感想文から）

釜石市では7月15日（火）3回上映に378名が鑑賞。4月に相談会、5月9日に8団体で“釜石地区映画「日本の青空」をみる会”を立ち上げ取り組んできました。鑑賞後の感想文は40枚以上が寄せられ、「憲法をちゃんと調べてみたい」「夫婦愛や人間愛もストーリーの大切な要素になっていたのが印象的」と好評。実行委員会では、多くの皆さんが良い映画を釜石で観られるよう、今後も取り組んでいくことを確認しました。久慈市では7月28日（月）2回上映に245名が鑑賞。17団体による実行委員会ですすめ、上映直前には高校前でのチラシ配布、宣伝カーなども実施しました。当日は雷が鳴るあいにくの天候、会場が一瞬停電のアクシデントもありましたが、「憲法制定の影に平和を願う人々の苦労があったことを生徒たちに伝えたい」（高校の日本史の先生）との感想も寄せられ、なんとか無事に終了しました。8月に最終の実行委員会を行い決算や振り返りをする予定です。

高松の池 「平和のつどい」に来てね

盛岡市高松の池に平和祈念像「望み」があるのをご存知ですか？「核兵器のない平和な世界をめざして不戦を誓う」シンボルとして、生協組合員はじめ2万人を超える県民の皆さんが平和への想いと募金で建立した親子の像です。

毎年この時期に「望み」の前で、いわて生協組合員が「平和のつどい」を開催しています。

大人も子どもも一緒に平和へのさまざまな思いを持ち寄り、平和について考えてみませんか。

8月9日（土）10:30～12:30

高松の池・平和祈念像「望み」前 雨天中止

- ・原爆パネル展示&平和クイズ
- ・平和メッセージコーナー
- ・戦時中の暮らし（戦時食、教科書展示）
- ・子どもコーナー（平和紙芝居&昔あそび）他



*** 参加無料です
どなたでもご参加下さい**

いわて生協「平和のつどい」実行委員会 連絡先（いわて生協組織本部）: 019-603-8299